

## 第 11 回建設業経理士 1 級財務分析 解答速報

〔第 1 問〕 解答にあたっては、指定した字数以内（句読点含む）で記入すること。  
問 1

限界利益とは完成工事高から変動費を控除したものをいい☆、営業量に比例し限界利益が固定費を回収し終えた営業水準が損益分岐点である☆。すなわち、限界利益は利益を上げるための限界部分の利益を意味する★。

問 2

損益分岐点分析とは、原価と売上高と利益の相関関係に関する分析の中心的技法である★。

建設業の損益分岐点分析は、建設業が受注産業であるという特性から、固定費と変動費の分解に際して、簡便的に、財務諸表項目の販売費及び一般管理費を固定費とし、工事原価のすべてを変動費とする慣行がある☆☆。これは、工事の遂行に直接的に関与させ得る原価を変動費としてとらえ、間接的な関与をする一般管理費等を固定費と捉えているためである☆☆。

次に、建設業の分析においては、資金調達の重要性を加味し営業利益段階での損益分岐点分析ではなく、経常利益段階での損益分岐点分析を行うことを慣行としている☆☆。ここでは、固定費に支払利息を加え、その他の営業外損益を変動費に加減している☆。

予想採点基準

☆… 2 点 × 9 = 18 点

★… 1 点 × 2 = 2 点

合計 20 点

☆または★の前の文の内容が正解で得点。

〔第2問〕

記号 (ア～ホ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ト	フ	ホ	ネ	ナ	ノ	ス	セ	コ	イ	シ
★	★	★	★	☆	★	☆	☆	★	☆	★

予想採点基準

☆… 2点 × 4 = 8点  
 ★… 1点 × 7 = 7点  
 合計 15点

〔第3問〕

(A) ☆ 7,500 百万円 (百万円未満を切り捨て)

(B) ☆ 12,000 百万円 ( 同 上 )

(C) ☆ 1,100 百万円 ( 同 上 )

(D) ☆ 1,536 百万円 ( 同 上 )

純支払利息比率 ☆ 0.37 % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

予想採点基準

☆… 3点 × 5 = 15点

〔第4問〕

問1 ￥ ★ 48,000,000 (円位未満を切り捨て)

問2 ￥ ★ 66000 ( 同 上 )

問3 ★ 185 % (小数点以下を四捨五入)

問4 ★ 102 % ( 同 上 )

予想採点基準

★… 5点 × 4 = 20点

〔第5問〕

問1

- A 総資本事業利益率 ☆ 2.69 % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)
- B 経営資本営業利益率 ☆ 3.15 % (同上)
- C 完成工事高キャッシュ・フロー率 ☆ 0.08 % (同上)
- D 立替工事高比率 ☆ 24.09 % (同上)
- E 必要運転資金月商倍率 ☆ 0.29 月 (同上)
- F 営業キャッシュ・フロー対流動負債比率 ☆ 12.40 % (同上)
- G 固定比率 ☆ 188.15 % (同上)
- H 受取勘定回転率 ☆ 3.84 回 (同上)
- I 労働生産性 ☆ 20 百万円 (百万円未満を切り捨て)
- J 完成工事高増減率 ☆ 1.33 % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

問2

記号 (ア～ホ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ	ナ	シ※	イ※	カ	セ	ソ	へ	ト
★	★	★	★	☆	★	★	★	★

※順不同

予想採点基準

☆… 2点 × 11 = 22点

★… 1点 × 8 = 8点

合計 30点